



Music Program TOKYO

Workshop Workshop!

東京ネットワーク計画

5館連携 若手アーティスト支援

アフタヌーン・ コンサート

Afternoon Concert by Young Musicians

2026年
(令和8年) 2月14日(土) 15:00開演

東京文化会館 小ホール

Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

マルセル・トゥルニエ：『映像』第1組曲 Op.29より 第3曲「踊り子ロリータ」
 ガブリエル・ピエルネ：ハープと管弦楽のための小協奏曲 Op.39
 Marcel TOURNIER: *Images*, Suite No.1, Op.29; III. "Lolita, la danseuse"
 Gabriel PIERNÉ: Concert Piece for Harp and Orchestra, Op.39

このような演奏の機会をいただきましたこと、大変嬉しく思っております。本日演奏する2曲はどちらもフランスの作曲家の作品です。トゥルニエは作曲家であると同時に優秀なハーピストでもありました。ハープの演奏技巧や和声の可能性を引き出した数々のハープのソロ曲を残しています。「踊り子ロリータ」はトゥルニエの代表作でもある《映像》(全4組曲)の第1組曲の中の1曲です。題名の通り踊り子が華やかに踊る姿が表現されています。2曲目に演奏する「ハープと管弦楽のための小協奏曲」はアッセルマンというハーピストのために書かれた作品で、ピエルネの代表作でもあります。ピエルネの残したハープ作品はどれも華やかで、「ハープらしい」という言葉がびったりなほど、ハープの技術や美しさが詰め込まれています。この曲はピアニストの平柳美乃さんに伴奏をしていただきます。彼女とは高校時代から共に音楽を学んできました。波長の合う私たちだからこそ感じ取れるお互いの音楽を音色にのせて、皆さまにお届けしたいと思います。ハープらしさ、そしてハープとピアノの掛け合いをお楽しみいただければ幸いです。

(浅野 華)

モーツァルト：弦楽四重奏曲第3番 ト長調 K156より 第1楽章(アウトリーチ形式による)
 シューマン：弦楽四重奏曲第2番 ヘ長調 Op.41-2より 第1楽章
 MOZART: String Quartet No.3 in G major, K156; 1st movement (Performed in outreach style)
 SCHUMANN: String Quartet No.2 in F major, Op.41-2; 1st movement

本日は弦楽四重奏に初めて触れる方もお好きでよく聴かれる方にもぜひお楽しみ頂けるよう、各パートの役割を分かりやすくご紹介させて頂きます。なかなか内声(第2ヴァイオリンとヴィオラ)のパートに着目して聴く機会はないと思いますので、内声の魅力もお伝えできましたら幸いです。

(北見 春菜)

弦楽四重奏をそれぞれのパートに個別に分解して演奏することにより、普段CDや通常のコンサートでは聴くことのできない楽曲の切り口をお届けします。アウトリーチ形式の演奏なので、私たちの演奏をより身近に感じていただき、すこし奏者目線も取り入れて一緒に音楽を楽しめる場となれば嬉しいです。

(鶴 友見)

完成されているはずの曲を「分解」?それってどういうことだろう?と思われるかもしれません。実は、私達自身も、分解して弾いてみることによって新たな発見をすることも多いのです。本日はそんなひとコマを覗いたつもりで、弦楽四重奏の響きを一緒に体感していただけたら嬉しいです!

(保手浜 朋子)

アウトリーチを重ねる中で、0歳からご高齢の方、また様々な理由でコンサートに足を運びにくい方々とも音楽を通し交流してきました。興味を持ってもらえるプログラムを考える中で、予想もしない感想や反応は何よりも嬉しい瞬間でした。今日はその経験を生かしお届けできたらと思います。

(田中 愛)

「静岡の名手たち」より ハープ・ソロ
 Harp Solo from Shizuoka no Meishutachi

浅野 華(ハープ) ASANO Hana, Harp



8歳よりハープを始める。第10回横浜国際音楽コンクール高校生弦楽器部門第1位。第18回大阪国際音楽コンクールハープシニア部門第1位・松尾博賞。第24回「静岡の名手たち」オーディションに合格。ポーランド国際音楽コンクールopus.2021ハープ部門第1位。その他多数入賞。これまでに斎藤充子、故・篠田淳、松井久子、篠崎史子、福井麻衣、高野麗音各氏に師事。2019年、天皇后両陛下ご臨席の日本国際賞授与式にて独奏。2019年度青山音楽財団奨学生。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学卒業。プロオーケストラでの客演演奏や新曲の初演、イベントやメディア出演など活動は多岐にわたる。

平柳美乃(ピアノ) *賛助出演 HIRAYANAGI Yoshino, Piano



1998年生まれ。3歳よりピアノを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学を経て、同大学院音楽研究科に進学。2023年秋よりベルリン芸術大学修士課程ソリスト科に在籍。大学在学中に、藝大奏楽堂モーニング・コンサートのソリストに選出され、山下一史氏指揮のもと、藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。これまでに角野美智子、村田理夏子、パスカル・ドゥヴァイヨン、東誠三、ゴットリーブ・ヴァリッシュの各氏に師事。

アウトリーチセミナーより 弦楽四重奏
 String Quartet from the Outreach Seminar

保手浜朋子(ヴァイオリン) HOTEHAMA Tomoko, Violin



桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部卒業。同大学研究科、桐朋オーケストラ・アカデミー修了。第22回日本クラシック音楽コンクール第5位。2018年鳥取大学室内管弦楽団と共演。第24回および第25回防府音楽祭にゲストアーティストとして出演。ソロ、室内楽、オーケストラ等の演奏活動を行う。NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク「アウトリーチセミナー」受講。

北見春菜(ヴァイオリン) KITAMI Haruna, Violin



桐朋学園大学卒業。同大学研究生及び桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程生修了。2009年、小澤征爾音楽塾参加。サントリーホール室内楽アカデミー第1期生、第2期生修了。NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク「アウトリーチセミナー」受講。弦楽四重奏団「カルテット・エクセルシオ」元メンバー。横浜市栄区民文化センターリリス・レジデンス・アーティストを経て、地域共創アーティスト。一般社団法人横浜音楽文化協会会員。

鶴 友見(ヴィオラ) TSURU Tomomi, Viola



国立音楽大学演奏学科ヴィオラ専攻卒業。室内楽コース修了。ブルック・カルテットとして第6・7章プロジェクトQに参加。第4回横浜国際音楽コンクール第3位。第33回霧島国際音楽祭賞受賞。PMF、小澤征爾音楽塾、ルツェルン・フェスティバル・アカデミーに参加。サントリーホール室内楽アカデミー第1期生。桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程修了。NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク「アウトリーチセミナー」受講。

田中 愛(チェロ) TANAKA Ai, Cello



桐朋学園大学卒業。同大学研究科修了。ソロや室内楽、オーケストラ等での演奏の他、(財)地域創造公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラムに弦楽四重奏で参加し、各地の小中学校でのアウトリーチやコンサートを行う。NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク「アドヴェントセミナー」受講。桐朋学園大学附属「子供のための音楽教室」仙川教室、お茶の水教室、大宮教室実技講師。

ケリー・ターナー：バルクスのためのファンファーレ
 ヒンデミット：4本のホルンのためのソナタ
 Kerry TURNER: Fanfare for Barcs for 4 Horns
 HINDEMITH: Sonata for 4 Horns

芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウィンドは「学ぶ、奏でる、そして羽ばたく」をスローガンに、東京芸術劇場を拠点として活動しています。演奏にとどまらず、幅広いスキルの習得や多様な演奏機会を通して、音楽家としてのさらなるステップアップを目指し、日々研鑽を重ねています。ターナー作曲「バルクスのためのファンファーレ」は、1989年にハンガリー・バルクスでの国際コンクール優勝を記念して、アメリカン・ホルン・カルテットののために書かれた祝祭的な作品です。躍動感あふれるリズムと緊密に組み合わせられたモチーフが、ホルンの輝かしい響きを際立たせます。ヒンデミット作曲「4本のホルンのためのソナタ」は3楽章からなり、第1楽章では主題が4人の奏者の間でフーガのように受け渡され、終楽章では古いドイツ民謡に由来する旋律を用いた変奏曲が展開します。ホルン四重奏ならではの柔らかで深みのある響きの中に、ファンファーレの華やかさと荘厳なハーモニーの対比をお楽しみください。

(出演者一同)

ハイドン：弦楽四重奏曲第41番ト長調 Hob. III:41より 第1楽章
 ブラームス：弦楽四重奏曲第1番ハ短調 Op.51-1より 第1楽章
 HAYDN: String Quartet in G major, Hob.III:41; 1st movement
 BRAHMS: String Quartet No.1 in c minor, Op.51-1; 1st movement

ハイドンの弦楽四重奏曲第41番は、作品33として出版された全6曲からなる「ロシア四重奏曲」の5曲目とされる作品です。冒頭の4つの音からなる旋律から「Wie geht es dir?」(ドイツ語で「ご機嫌いかが?」)の愛称で呼ばれることもあります。以前私たちは同じト長調であり洗練された印象をもつ第75番に取り組んだことがありますが、今回、あたたかく語りかけるようなこの作品でト長調の幅の広さを表現したく選曲いたしました。

ブラームスは、私たちがクアルテットを結成してから、ずっと挑戦してみたかった作曲家のうちの1人です。ブラームス自身、この作品を発表するにあたり、長い歳月をかけました。弦楽四重奏曲第1番が完成された3年後、同じくハ短調であり、作曲に20年以上もの時間がかけられた交響曲第1番が完成されています。全体を通した構成にも共通点があり、両作品ともハ短調から始まった第1楽章は、ハ長調で締めくくられます。悩みながらも、少しでも光を求めて作品を作り続けたブラームスの作品を表現できたいと思います。

(出演者一同)

芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウィンドより
 ホルン四重奏

Horn Quartet from the Tokyo Metropolitan Theatre Geigeki Orchestra Academy for Wind

大塚 季 OTSUKA Minori, Horn



©T.Tairadate

1997年生まれ。茨城県牛久市出身。12歳でホルンを始める。茨城県立取手松陽高等学校音楽科、洗足学園音楽大学ホルン専攻卒業。第31回SHOBI高校生ソロコンテスト優秀賞・第3位。2017~2019年度、前田記念奨学金奨学生に選出され、大学より奨学金を授与される。2019年、チェコ・クロムニェージュにてラデク・パボラク、ポーダン・セベスティク各氏によるマスタークラスを受講。大学卒業時に優秀賞を受賞。これまでにホルンを溝口哲矢、飯笹浩二の各氏に師事。芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウィンド第10期生。

古川優貴 FURUKAWA Yuki, Horn



©T.Tairadate

千葉県九十九里町出身。18ジュニアソロホルンコンクール奨励賞。日本ホルン協会オーケストラオーディション・コンクール本選出場。令和3年度、4年度福井直秋記念奨学金給費奨学生。北九州国際音楽祭に出演。ホルンを大森啓史、日高剛、今井仁志、高橋臣宜の各氏に師事。室内楽を北村貴子氏に師事。武蔵野音楽大学を卒業。芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウィンド第10期生。

佐藤文香 *卒園生 SATO Fumika, Horn



©Ayane Shimdo

埼玉県さいたま市出身。9歳よりホルンを始める。東京音楽大学卒業、東京藝術大学音楽学部別科修了。芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウィンド第7期生。第13回ジュニア管打楽器コンクールホルン部門銀賞(最高位)。The Sixth Sense Grand Prix 木管五重奏部門第2位(最高位)。霧島国際音楽祭や東京・春・音楽祭、北九州音楽祭等に出演。ホルンを飯笹浩二、日高剛、大見川満、水野信行、笠松長久の各氏に師事。洗足学園音楽大学準演奏補助要員。木管五重奏ジュエットメンバー。

三浦えみな *賛助出演 MIURA Emina, Horn



2002年生まれ東京都出身。13歳よりホルンを始める。第23回日本ジュニア管打楽器コンクールソロ部門にて銀賞受賞。第85回東京国際芸術協会新人演奏会に出演並びに奨励賞受賞。2024年小澤征爾音楽塾OMF室内楽勉強会木管アンサンブルマスタークラスに参加。2025年セイジ・オザワ松本フェスティバル子どものための音楽会に参加。大学在学時にサボレチ・ゼンブレニ、フランク・デムラー氏のレッスンを受講。ホルンを日橋辰朗、勝俣泰の各氏に師事。東京音楽大学を卒業。現在、桐朋オーケストラアカデミー在籍中。

サントリーホール室内楽アカデミーより
 弦楽四重奏

String Quartet from the Suntory Hall Chamber Music Academy

高麗愛子(ヴァイオリン) KORAI Aiko, Violin



第71回全日本学生音楽コンクール中学校の部東京大会2位、全国大会3位。第14回リビンスキ・ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクールジュニア部門第3位。第9回アリオソ桐朋音楽賞・奨励賞受賞。第94回日本音楽コンクール第4位。これまでに寺沢希美、現在、辰巳明子に師事。桐朋学園大学音楽学部にて特待生として入学、現在4年に在学中。

クアルテット・イーリス(弦楽四重奏) Quartet Iris

2023年4月に桐朋学園大学在学中の4名にて結成。「イーリス」はギリシャ神話の「虹の女神」の名前に由来する。第13回秋吉台音楽コンクール室内楽(弦楽四重奏)部門第3位および審査員特別賞受賞。ザルツブルク=モーツァルト国際音楽コンクールin Tokyo 2025第2位。第5回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第3位。25年芸劇プランチコンサートに出演。これまでに磯村和英、山崎伸子に師事。サントリーホール室内楽アカデミー第8期フェロー。

稲田清香(ヴァイオリン) INADA Sayaka, Violin



桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学4年に在学中。第30回日本クラシック音楽コンクールヴァイオリン部門高校生の部全国大会入賞。これまでに、小澤国際室内楽アカデミー奥志賀2023、ザルツブルク・モーツァルトテウム大学マスタークラスなどを受講。これまでにヴァイオリンを石亀協子、徳永二男に師事。

鈴木双葉(ヴィオラ) SUZUKI Futaba, Viola



第11回セシリア国際音楽コンクール第1位。仙台国際音楽コンクール関連行事にて審査員のマスタークラスを受講。また仙台フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者と共演。これまでヴァイオリンを勅使河原真実、徳永二男、ヴィオラを磯村和英、佐々木亮に師事。桐朋学園大学音楽学部を経て、現在同大学院修士課程1年在学中。

宮之原陽太(チェロ) MIYANOHARA Yohta, Cello



第78回全日本学生音楽コンクール全国大会第1位、あわせて横浜市民賞、NHK会長賞を受賞。第28回コンセル・マロニエ21第3位など受賞多数。これまでにチェロを佐藤満、松波恵子、山崎伸子に師事。桐朋学園大学音楽学部チェロ科を首席で卒業。現在、チェロアンサンブル・サイトウ奨学生として同大学院修士課程1年在学中。

ドニゼッティ：オペラ『愛の妙薬』より
 二重唱「ラララ」♡♡
 「人知れぬ涙」♡
 「受け取って、あなたは自由よ～私のひどい仕打ちは忘れて」♡~♡♡

DONIZETTI: from *L'elisir d'amore*
 Duet "Lallarallara la la la la la"
 "Una furtiva lagrima"
 "Prendi, per me sei libero ... Il mio rigor dimentica"

私たちサントリーホール オペラ・アカデミーの受講生は、3月13日にサントリーホール ブルーローズで開催される「オペラティック・コンサート」に向けて、ドニゼッティ作曲のオペラ『愛の妙薬』に取り組んでいます。

物語の舞台は、スペイン・バスク地方の小さな農村。恋に悩み純朴で貧しい青年ネモリーノと、農場主の娘で美しく賢く、でも少し気まぐれなアディーナの恋の物語です。二重唱「ラララ」では、インチキ薬売りから買った「愛の妙薬」(実は安物ワイン)の効果を感じ、ネモリーノが「明日には両想いになるんだ」と珍しく大きな態度に出てアディーナをイライラさせます。場面は変わり、アディーナの愛を確信したネモリーノが美しいロマンツァ「人知れぬ涙」を歌い上げると、続くアディーナのアリアでは、二人の心が少しずつ近づいていきます。

仲間たちと共にこの作品を深めていく中で、それぞれの役のまっすぐな気持ちや、ドニゼッティの美しい音楽が持つ温かさに何度も心を動かされました。今回の演奏では、そんな『愛の妙薬』の魅力をみなさまにお届けしたいと思います。登場人物の様々な感情の動き、そして恋のときめき—この温かい物語の世界と一緒に楽しんでいただければ幸いです。

(山元三奈、谷島 晟)

サントリーホールオペラ・アカデミーより
 Singers and Pianist
 from the Suntory Hall Opera Academy

山元三奈(ソプラノ)♡ YAMAMOTO Mina, Soprano



©Fukaya/suraY2

富山県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科首席卒業。二期会オペラ研究所第67期マスタークラス修了、優秀賞受賞。第76回全日本学生音楽コンクール全国大会第2位。第10回日光国際音楽祭声楽コンクール今市ロータリークラブ賞受賞。第21回北陸新人登竜門コンサートにてオーケストラ・アンサンブル金沢と共演。宗次エンジェル基金/公益社団法人日本演奏連盟奨学生。現在、サントリーホール オペラ・アカデミー プリマヴェーラ・コース第8期在籍中。

谷島 晟(テノール)♡ YAJIMA Joe, Tenor



国立音楽大学附属高等学校ピアノ科を経て、同大学演奏・創作学科声楽専修卒業。第10回東京国際声楽コンクール入選。第1回国際声楽コンクール東京第3位(1位なし)。鹿内芳人、田辺とおる、今尾滋、山下浩司に師事。2025年7月、スポレート(イタリア)のメノッティ芸術祭において、G. サッパディーニのマスタークラスを受講。現在、サントリーホール オペラ・アカデミーアドバンスト・コース第7期在籍中。

齊藤真優(ピアノ) SAITO Mayu, Piano



国立音楽大学卒業、並びにコレペティートル・コース修了。サントリーホール オペラ・アカデミー プリマヴェーラ・コース第7期修了。ピアノを荒木緑、高橋慶子に、コレペティートルを河原忠之に師事。コレペティートルとして、Carmen Santoro のマスタークラスを受講。現在、複数の音楽大学で演奏補助を務めるほか、声楽伴奏を中心とした演奏活動を行っている。また、編曲活動もっており、原曲により近いリダクションを得意としている。

ジュゼッペ・カンビーニ：フルート、オーボエとファゴットのための三重奏曲第1番 ニ長調
 Op.45-1より 第1楽章

ユリウス・レントゲン：フルート、オーボエとファゴットのための三重奏曲ト長調 Op.86

Giuseppe CAMBINI: Trio No.1 for Flute, Oboe, and Bassoon in D major, Op.45-1; 1st movement

Julius RÖNTGEN: Trio for Flute, Oboe, and Bassoon in G major, Op.86

古典派とドイツ=オーストリア的ロマン派の到来により、木管五重奏というジャンルの作品が多く作曲された。しかしながらフルート、オーボエとファゴットの編成での三重奏の作品を概観するとその例は非常に少なく、本作品が代表的なものになるだろう。1770年、ボンでベートーヴェンが誕生し、後に前世代や同時代の多くの名を歴史から消すほどの存在となる頃、パリの「コンセル・スピリチュエル」のヴァイオリニストとして演奏していたジュゼッペ・カンビーニ Giuseppe CAMBINI (1746-1825)は、あらゆるジャンルの音楽作品(室内楽、交響曲、宗教曲、聖楽、オペラ、バレエ音楽)を残しており、作品45は1785年に出版された。アムステルダム音楽院の創設者のひとりであるユリウス・レントゲンJulius RÖNTGEN (1855-1932)も600曲以上の作品を残しており、作品86は1917年に作曲されたとされている。両作品の作曲年は100年以上離れているが、どちらも3つの楽器に要求される技巧性や音楽の役割が対等であり、複雑な様式は見られず素朴で特別な表現力を求めるものではなく、音楽を形作る要素のまとまりと統一感に溢れている。本演奏をとおして、この2人の作曲家がこれまでの音楽史で扱われる大作曲家達と肩を並べるほどの音楽家であったことを感じていただきたい。

(保崎 佑)

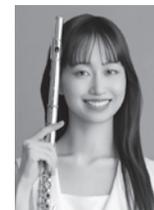
東京音楽コンクール入賞者より 木管三重奏
 Wind Trio from Tokyo Music Competition Prizewinners

保崎 佑(ファゴット) 第21回木管部門第1位及び聴衆賞
 HOZAKI Yu, Bassoon
 1st prize and Audience Award of Wind section at the 21st Tokyo Music Competition



特別特待奨学生として東京音楽大学アーティスト・ディプロマコースに在籍中、第21回東京音楽コンクール木管部門優勝及び聴衆賞を受賞。2023年に同大学院音楽研究科博士後期課程を「優秀賞」付きの給代で修了、国内初となるファゴットでの博士号(音楽博士)を取得。近年ではソリスト・室内楽奏者として東京都交響楽団、東京交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団など、国内のオーケストラ、国内外の世界的アーティストと数多く共演するなど幅広い音楽活動の他、東京音楽大学助教として研究活動にもあたっている。2022~2023年度ロム・ミュージック・ファンデーション奨学生。

瀧本実里(フルート) 第17回木管部門第1位
 TAKIMOTO Misato, Flute
 1st prize of Wind section at the 17th Tokyo Music Competition



東京音楽大学卒業。フルートを坂本しのぶ氏、工藤重典氏に師事し、2016年~2018年小澤征爾音楽塾に参加。2019年に日本音楽コンクールフルート部門、東京音楽コンクール 木管部門、びわ湖国際フルートコンクールで立て続けに優勝した他、様々なコンクールで優勝。これまでに東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団と共演。NHK-FM「リサイタル・パッショ」に出演。2018年度ロムミュージックファンデーション奨学生。

保坂静伶奈(オーボエ) 第21回木管部門第3位
 HOSAKA Serena, Oboe
 3rd prize of Wind section at the 21st Tokyo Music Competition



都立総合芸術高等学校を経て東京音楽大学を特別特待奨学生として卒業後、ストラスブル地方音楽院、パリ・エコールノルマル音楽院を修了。第19回大阪国際音楽コンクール木管楽器部門第1位、第21回東京音楽コンクール木管部門第3位。小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIII, XVI, XVIIに参加。オーボエを南方総子、宮本文昭、荒絵理子、Christian Schmitt、Thomas Indermühleの各氏に師事。

Music Program TOKYO Workshop Workshop! 東京ネットワーク計画

多くの文化施設や芸術団体では、独自の若手アーティスト育成・支援プログラムを行っており、そこで育った人材が国内外の大舞台上で活躍しています。同時に、ホールでのコンサートだけでなく、より多くの方に音楽を届けようと地域や教育・社会福祉施設等に出掛けて行うアウトリーチ・コンサートも盛んに実施されるようになっており、若手アーティストの活動の場は確実に増えています。

東京文化会館では、「東京ネットワーク計画」を通じて、都内の文化施設や芸術団体とネットワークを結び、若手アーティストの活動支援や、音楽活動による地域の活性化に取り組んでいます。

〈令和7年度の取り組み〉

都内文化施設と連携したコンサートの実施

都内の区市町村等に、東京文化会館が主催する東京音楽コンクールで優秀な成績をおさめた若手アーティストを派遣し、都内文化施設と東京文化会館が共催でコンサートやアウトリーチ公演を行っています。都内の様々な文化施設と若手アーティストとの輪を広げ、地域の特性を生かしたコンサートをお届けします。

●東京音楽コンクール入賞者による2台ピアノ・コンサート

東京ネットワーク計画として3回目のコンサートを開催しました。これまで多様な編成のコンサートを実施し、世代を問わず地域の皆さまに親しまれてきましたが、今回は身近な楽器であるピアノに注目した2台ピアノの公演を実施。入賞者の今田篤さん・西村翔太郎さんの迫力ある演奏とトークで、アットホームな時間となりました。

2026年2月7日(土) FSXホール(くにたち市民芸術小ホール)

出演／

ピアノ：今田篤 *第11回東京音楽コンクールピアノ部門第2位

ピアノ：西村翔太郎 *第14回ピアノ部門第2位及び聴衆賞

主催：東京都／東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)

共催：公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団／くにたち市民芸術小ホール

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

●ようこそ、はじめての音楽会へ!～家族で楽しむ、やさしい5つの音色～ ※実施予定

ファミリー層の多い羽村市で、未就学児を対象としたコンサートを開催します。親子で生演奏を楽しむ体験を通じて、子育て世代が文化活動へ参加するきっかけとなるようなコンサートをお届けします。東京音楽コンクールの入賞・入選者とともに、音楽に触れる最初の一步となる場を目指します。

2026年2月21日(土) プリモホールゆとろぎ(羽村市生涯学習センター)

出演／

フルート：永留泰斗 *第21回東京音楽コンクール木管部門 第3位

クラリネット：栗山かなえ *第23回木管部門 第2位及び聴衆賞

ファゴット：森松風仁 *第23回木管部門 入選

オーボエ：保坂静侘奈 *第21回木管部門 第3位

ホルン：多田凌吾 *第22回金管部門 第3位

主催：東京都／東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)

共催：羽村市教育委員会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

首都圏文化施設・芸術団体と連携した人材の育成

東京文化会館では都内文化施設や芸術団体と協力し、次代を担う「人材」を育成します。

●若手音楽家活動支援セミナー

「音楽家のための確定申告講座」

2026年1月24日(土) 東京文化会館 大会議室

講師：伊沢成貴(税理士／伊沢成貴税理士事務所)

音楽家として社会で生きる力をつけ、より充実した音楽活動を展開し、さらなるキャリアアップを目指すサポートをすべく、確定申告の事務手続きについて学ぶ講座を実施しました。

5館連携 若手アーティスト支援 アフタヌーン・コンサート

各文化施設で育った若手アーティストと文化芸術・教育・社会福祉関係者、応援して下さるお客様をつなぐ取り組みとして「アフタヌーン・コンサート」を開催いたします。

令和7年度、この公演は、東京芸術劇場、トリトン・アーツ・ネットワーク／第一生命ホール、サントリーホール、東京文化会館に、新たに静岡音楽館AOIにも加わっていただき、5館の連携により実現しました。

まさに次代を担う若手アーティストの熱演とアウトリーチのデモンストレーションを交えたコンサートをお楽しみください。



写真は2025年2月15日(土)に実施したアフタヌーン・コンサートの様子



©T.Taira date

静岡音楽館AOI

Concert Hall Shizuoka

CONCERT HALL SHIZUOKA
静岡音楽館 AOI

静岡音楽館AOIは、静岡の音楽文化を担う拠点として1995年に開館しました。東京、名古屋から新幹線ひかり号で約1時間、JR静岡駅前に位置し、618席のホールは最高レベルの音響を誇り、世界的な音楽家から愛されています。芸術監督のもと、静岡から発信する新しい音楽文化の創造、発展を目指し、多彩なコンサート、講座等を開催しています。

「静岡の名手たち」オーディション

1995年の開館時より、静岡にゆかりのある新進音楽家の発掘・育成のため、毎年オーディションを開催しています。オーディション合格者は「静岡の名手たち」として、静岡音楽館AOI主催のコンサートなどに出演いただきます。これまでに延べ326名が合格し、それぞれの分野で活躍しています。また、オーディションでは「ロダン賞」「コンチェルト賞」を選考し、受賞者の演奏機会の創出を担っています。

●ロダン賞

静岡県立美術館ロダン館でのコンサートの出演者として、静岡音楽館AOIから推薦します。

●コンチェルト賞

(公財)富士山静岡交響楽団が出演するコンサートのソリストとして、静岡音楽館AOIから推薦します。

※各賞は、合格者における優劣を示すものではありません。

「静岡の名手たち」オーディションに関するさらに詳しい情報については静岡音楽館AOIのHPをご覧ください。



ロダン賞



コンチェルト賞

〈これまでの主な合格者〉

嶋田慶子(第1回合格/ NHK交響楽団ヴァイオリン奏者)
松谷 卓(第1回合格/ピアニスト、作曲家として朝日放送テレビ番組「大改造!!劇的ビフォーアフター」テーマ曲を作曲・演奏)
大木麻理(第13回合格/ ミューザ川崎シンフォニーホール・ホールオルガニスト)
今田 篤(第13、15回合格/ピアニスト、第10回浜松国際ピアノコンクール第4位)
戸村愛美(第21回合格/ Lumie Saxophone Quartet アルトサクソフォン奏者)
ほか

過去の合格者の主な活躍はこちらからもご覧いただけます。



「静岡の名手たち」Facebook

オーディション合格者が出演するコンサート

●オーケストラ名曲の午後 (「AOIのオープン・デイ」より)

歴代の「静岡の名手たち」を中心としたメンバーによるオーケストラ公演を開催しています。ホールやロビーを会場とし、多様なコンサートやワークショップを無料でお届けするイベント「AOIのオープン・デイ」のうちの一つです。



©日蓮真光

●「静岡の名手たち」によるアウトリーチ・コンサート「どこでもAOI」

静岡市内の学校を対象に、学校所有のピアノを使って演奏し、質の高い音楽鑑賞の機会を提供します。



トリトン・アーツ・ネットワーク／第一生命ホール

Triton Arts Network / Dai-ichi Seimei Hall



トリトン・アーツ・ネットワークは、第一生命ホール(東京都中央区晴海)を拠点として、音楽活動を通じて地域社会に貢献する認定NPO法人です。「音楽でつながり、音楽とともに生きる社会の実現」を活動理念とし、「音楽によるコミュニティの活性化——音楽の楽しさを分かち合い、心を豊かにする」を目指し、ホール事業とコミュニティ事業の2つの柱を軸に活動しています。とくにコミュニティ事業は、NPOの会員、サポーター(ボランティア)、寄付等の様々なご支援で実現しています。

コミュニティ事業：若手演奏家の支援～アウトリーチセミナー

若い演奏家を対象に、子どもと音楽との出会いの場「アウトリーチ」を考えるセミナーを開催しています。講師であるヴァイオリン奏者・松原勝也氏(東京藝術大学教授)とともに「音楽を演奏するとはどういうことか」「音楽を子どもたちと共有するとはどういうことか」をじっくり考えながらリハーサルを重ねた後、実際に小学校等を訪れてアウトリーチを行っています。徹底的に音楽と向き合ったリハーサルをし、子どもたちと共有することが、演奏家にとって曲の理解につながり、自身の音楽も深まる結果となっています。セミナー修了後も、アウトリーチやホールでのコンサートなど様々な機会を提供し、さらなるスキルアップを目指します。



クワルテット・ミルテ(2025年度受講生)による保育園アウトリーチ



クワルテット・カノープス(2024年度受講生)による小学4年生対象アウトリーチ



クワルテット・ミルテ(2025年度受講生)と講師の共演による「第一生命ホールロビーコンサート」



第一生命ホール「ロビーでよちよちコンサート」(セミナー修了後の出演)

コミュニティ事業：アウトリーチ活動

中央区およびその近隣の教育機関や病院、福祉施設など、普段生の芸術文化に触れる機会が少ない皆さまのところへアーティストと伺い、音楽をお届けしています。音楽を鑑賞してもらうだけではなく、対象者と演奏家のコミュニケーションを重視し、各訪問先の対象者や特色に合わせたプログラムを行っています。

本日の出演メンバー(保手浜朋子、北見春菜、鶴友見、田中愛)によるアウトリーチ



子ども発達支援センターでのアウトリーチ



特別養護老人ホームでのアウトリーチ



認定こども園でのアウトリーチ

ホール事業：ウェールズ・アカデミー

トリトン・アーツ・ネットワークが第一生命ホールで長年開催する「SQW(ストリング・クワルテット・ウィークエンド)」シリーズの一環として、2022年度より実施。ミュンヘンARD国際音楽コンクール入賞後、スイス・バーゼル音楽院で研鑽を積んだ「ウェールズ弦楽四重奏団」が、次世代に自らの経験を伝えたいとスタートしたものです。第4期(2025年度)は、3組の弦楽四重奏団が、それぞれ、ハイドン「ひばり」、ベートーヴェンの第16番、シューベルト第12番「四重奏断章」に取り組み、その成果を2月1日に第一生命ホール ウェールズ・アカデミー ガラ・コンサートで披露。

2025年度(第4期)受講生

きときとカルテット[伊東香音/清水健太郎(ヴァイオリン) 中島美由(ヴィオラ) 藤森洸一(チェロ)]
カルテット・チェーロ[谷川絢音/西山京花(ヴァイオリン) 山崎健一郎(ヴィオラ) 西田歩夢(チェロ)]
ジェルミナ・クワルテット[吉田みのり/米岡結姫(ヴァイオリン) 島英恵(ヴィオラ) 金叙賢(チェロ)]



公開レッスン(受講生：ジェルミナ・クワルテット、講師：三原久遠)



第一生命ホールでの公演(講師：崎谷直人、横溝耕一、富岡廉太郎との共演)

コミュニティ活動のレポートやトリトンアーツ通信、年間の事業報告書などをご覧いただけます。

<https://triton-arts.net>



東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

東京芸術劇場は、1990年に開館し、その後大規模改修を経て、2012年にリニューアルオープンしました。東京都の音楽・舞台芸術を代表する「顔」として、長期的な視点から「芸術文化の創造発信」「人材育成・教育普及」「賑わい」「国際文化交流」の拠点を目指し、質の高いプログラムを実施しています。

芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド(GOA)

東京芸術劇場では、2014年から若き管打楽器奏者を対象とした無償のアカデミープログラムを開設しています。全国各地から総勢14名のアカデミー生が在籍し、レッスン・キャリアアップゼミ・コンサートからなる3年間のカリキュラムを受講。アカデミー生はこれから社会で活躍するためのキャリアプランを劇場とともに考え、オーケストラや吹奏楽だけに限らない幅広い表現力と、セルフプロデュース能力の向上を目指して研鑽を積んでいます。

これまで、約80名近くの若き管打楽器奏者が学び、国内外で活躍しています。



詳細はこちらをご覧ください

講師(令和7年度)

福川伸陽(ミュージック・アドヴァイザー/ホルン)、斎藤和志(フルート)、荒木奏美(オーボエ)、アレッシンドロ・ベヴェラリ(クラリネット)、長哲也(ファゴット)、佐藤友紀(トランペット)、青木 昂(トロンボーン)、次田心平(チューバ)、小林沙羅(ソプラノ)、水谷 晃(ヴァイオリン)、中木健二(チェロ)、岡田 奏(ピアノ)

在籍生・卒団生の主な活躍

- 陶山咲希(第7期生/関西フィルハーモニー管弦楽団 ファゴットトップ奏者)
- 森山拓哉(第8期生/神戸市室内管弦楽団 ティンパニ・打楽器奏者)
- 亀岡航紀(第9期生/関西フィルハーモニー管弦楽団 トロンボーントップ奏者)
- 山田悠貴(第10期生/仙台フィルハーモニー管弦楽団 首席チューバ奏者) ◆在籍生

カリキュラム紹介

《カリキュラム① レッスン》

第一線で活躍する演奏家たちが、楽器の垣根を越えて個人・アンサンブルの指導にあたります。講師は管打楽器だけでなく、ピアノ、弦楽器、声楽などさまざまな演奏分野から集結。アカデミー生はあらゆる角度から表現を磨いていきます。さらにプロのオーケストラへの入団を見据え、オーケストラ・スタディのレッスンも実施します。



木管オーケストラ・スタディのレッスン

《カリキュラム② キャリアアップゼミ》

社会のなかで活躍できる音楽家になるには? キャリアアップゼミでは、プログラムノートの書き方から、身体のしくみ、キャリアプラン、さらにはビジネスマナーや確定申告に至るまで、さまざまな分野の専門家を招聘し、アカデミー生の持続的な活動をバックアップしていきます。



ゼミ風景(子どもと音楽について~ロバの音楽座の活動から)

《カリキュラム③ コンサート》

コンサート/ショーケース

GOAにとって、ステージは特別な学びの場です。主催公演では講師を交えたアンサンブルで、学びの成果を表現します。さらに最終年次は「ショーケース」に取り組み、自分ならではの企画を考案して演奏します。東京芸術劇場が、アカデミー生にとってのホームグラウンドになります。



卒団生によるショーケース

他館連携(依頼演奏)

アカデミー生は通年で劇場内外の公演やイベントに出演しています。GOAの依頼演奏では、演奏面だけでなく企画プロデュースやPRにも取り組み、本番までの制作プロセスも同時に経験します。さらに後述の「GOA+」にも登録し、東京都内のさまざまな場所で演奏活動を行います。



豊島区箕輪町交流事業 メモリアルコンサート in MINOWA (2025年11月15日 箕輪町文化センター(長野県))

GOA+(若手音楽家支援事業)

2025年度から新たに開始した「GOA+(ジーオーエー・プラス)」は、アカデミー出身者を対象としたアーティストバンク制度です。登録アーティストの演奏活動のバックアップを目的として、東京都内の演奏依頼を広く受け付けています。アカデミー修了後の活動もサポートすることで、若手音楽家が社会で活躍するためのエコシステムの構築を目指しています。



詳細はこちらをご覧ください



2025年11月22日~23日 江戸東京たてももの園 紅葉とたてもものライトアップ



2025年9月16日~17日 TOKYO FORWARD 2025 for 世界陸上(国立競技場)

サントリーホール Suntory Hall



東京初のコンサート専用ホールとして1986年に開館。以来、世界的なアーティストや作曲家、コンサートホールと協働し、グローバルな視野で活動を展開しています。同時に「ENJOY! MUSIC プログラム」と題した教育普及・社会貢献活動を展開し、未来を担う子供たちやプロフェッショナルを目指す若手音楽家たちに向けたプログラム、また、すべての人に身近なホールとなるための取り組みを実施しています。2026年に開館40周年を迎え、4月からは「サントリーホール開館40周年記念事業」として多彩な活動を展開します。

ENJOY! MUSIC プログラム

《音楽に出会うよろこびを》— 未来を担う子どもたちへ

- いろいろなドレドレー美術と音楽に親しむワークショップ&コンサート(3~6歳)
- 子どもオルガン研究所(小学生~)
- 東京交響楽団&サントリーホール こども定期演奏会(小学生~)
- 佐治敬三 ジュニアプログラムシート(小学生・中学生)
- サントリーホール&ウィーン・フィルの青少年プログラム(中学生・高校生)など

《音楽を創るよろこびを》— 若きプロフェッショナルたちへ

- サントリーホール アカデミー
- ウィーン・フィル奏者による公開マスタークラス

《より開かれたホールをめざして》

- オープンハウス ~サントリーホールで遊ぼう!(入場無料)
- CMGスペシャル チャレンジド・チルドレンのための室内楽演奏会(入場無料) など



「ENJOY! MUSIC プログラム」
詳細はこちらをご覧ください



いろいろドレドレー



こども定期演奏会(こども奏者がオーケストラ内で演奏)

サントリーホール アカデミー

プロフェッショナルとして歩みはじめた若手音楽家を対象とする、オペラと室内楽の2部門からなるアカデミー。オーディションに合格した受講生は、国内外の第一線で活躍するアーティストに2年間無料で学ぶ機会が与えられ、定期的に行われる勉強会で研鑽を積みまします。成果発表の拠点となるのはブルーローズ(小ホール)。選抜メンバーはサントリーホール制作のオペラ公演や室内楽フェスティバル「チェンバーミュージック・ガーデン」に出演します。両アカデミーの最新情報はサントリーホールHP内の「サントリーホール アカデミー」トピックスで随時紹介しています。

[アカデミー・ディレクター] 堤 剛(チェリスト/サントリーホール館長)



「サントリーホール アカデミー」
トピックスページは
こちらをご覧ください

《オペラ・アカデミー》

サントリーホール主催のホール・オペラ®に付随する育成プログラムとして1993年に発足。世界的な指揮者や歌手、コレペティトウアによるレッスンを受けるのみならず、メンバー同士が互いのよき「耳」となり、歌を聴いて意見を述べることで啓発しあう研修会のスタイルが大きな特徴です。2011年秋より若い声楽家・ピアニストのための「プリマヴェーラ・コース」を開設、エグゼクティブ・ファカルティに元テノール歌手で現在は指揮者・音楽指導者として活躍中のジュゼッペ・サッパティーニが就任しました。13年秋には「アドバンスト・コース」を併設。本アカデミーの活動の柱となるブルーローズでのコンサートやオペラ公演の他にも、選抜メンバーにはサントリーホール内外で様々な演奏機会を提供しています。迫田美帆、土屋優子、中川郁文、林真暎、石井基幾など国内外のオペラ・プロダクションで活躍する修了生も多く輩出しています。

[エグゼクティブ・ファカルティ]ジュゼッペ・サッパティーニ

[コーチング・ファカルティ]野田ヒロ子、櫻田 亮、古藤田みゆき

[アシスタント・ファカルティ]迫田美帆、石井基幾 [特別講師]田口道子、森田 学

[プロデューサー]真鍋圭子(サントリーホール エグゼクティブ・プロデューサー)



エグゼクティブ・ファカルティによる特別研究会



オペラ・アカデミー 30周年記念公演オペラ・ガラ・コンサート第2夜

《室内楽アカデミー》

2010年10月に開講。フェロー(受講生)たちは国内外の第一線で活躍するファカルティ(講師)と共に取り組む毎月2日間の定例ワークショップで、演奏技術からアンサンブルをする上でのコミュニケーションのとり方まで、広い視野でプロの室内楽奏者としての基礎を固めます。「チェンバーミュージック・ガーデン」への出演や、とやま室内楽フェスティバルなどでの演奏機会を通じて、室内楽の楽しさと深みを聴き手と分かち合う経験を重ねています。これまでに、葵トリオ(2018年ミュンヘン国際音楽コンクール第1位)のメンバー3人(秋元孝介、小川響子、伊東 裕)、カルテット・インテグラ(2022年ミュンヘン国際音楽コンクール第2位および聴衆賞)や、ほのカルテット(大阪国際室内楽コンクール2023弦楽四重奏部門第2位)などの若き室内楽奏者を輩出してきました。

[ファカルティ]原田幸一郎、池田菊衛、磯村和英、毛利伯郎、練木繁夫、花田和加子



定例ワークショップ



チェンバーミュージック・ガーデン

東京文化会館 Tokyo Bunka Kaikan



東京文化会館は、1961年の開館以来、オペラ、バレエ、クラシックコンサートなど、世界の名手たちが集う“音楽の殿堂”として多くの人々に親しまれています。自主事業では、新たな舞台芸術の創造発信、幅広い層への教育普及、次代を担う新進音楽家等の発掘・育成を柱に、多彩な事業を展開しています。

東京音楽コンクールと充実した入賞者支援

東京文化会館では、当時の館長であった故三善晃氏(作曲家)のもと、2003年より芸術家としての自立を目指す可能性に富んだ新人音楽家を発掘し、育成・支援を目的に「東京音楽コンクール」を開始しました。現在は国内外から多数の応募が寄せられる、若手音楽家の登竜門となっています。入賞者には、主催・共催事業への出演機会の提供やリサイタル支援など、次代を担う若手音楽家のキャリアステージに即した多彩な入賞者支援を用意しています。

東京文化会館は2026年5月7日より全面的な設備機器更新等の大規模改修工事を行うため、約3年間休館いたしますが、主催公演は引き続き東京都内各所で開催し、東京音楽コンクールの入賞者の活躍の場を創出して参ります。



東京音楽コンクール詳細

《入賞者への多彩な支援》

●東京文化会館主催事業への出演

東京音楽コンクール優勝者&最高位入賞者コンサート、東京文化会館《響の森》、上野 de クラシック、オペラBOX、アウトリーチ・コンサート、ミュージック・ワークショップ、舞台芸術創造事業、リラックス・パフォーマンスなど

●共同主催・連携事業への出演

小ホールにおける入賞者リサイタル(入賞者主催)、在京オーケストラとの共演による「フレッシュ名曲コンサート」(区市町村)、まちなかコンサート、東京芸術劇場主催「シアターオペラ」「コンサートオペラ」など

●入賞者プロフィール等の紹介

「東京音楽コンクール 報告書」へ掲載し、音楽事務所やオーケストラ、マスコミ各社に配布
東京文化会館ウェブサイト上での入賞者紹介ページの設置



オペラBOX『泣いた赤おに』(2025年9月)



まちなかコンサート (2025年10月) 江戸東京たてももの園 子宝湯

東京文化会館の人材育成・教育普及事業

東京の音楽文化の活性化を目指す「Music Program TOKYO」を通じて、様々な若手音楽家の活躍の場を創出しています。

《東京文化会館ミュージック・ワークショップ》

0歳から大人まで～見つけよう、音楽で広がる新しい世界

「音楽の素晴らしさをもっと気軽に、一人でも多くの方に味わってほしい!」という思いのつまったミュージック・ワークショップ。年齢や国籍、障害などの社会的背景に関係なくあらゆる人が参加できる場であること、音楽や芸術に対する関心を高め、自己表現能力やコミュニケーション能力を養い、豊かな心を育てることを目指しています。また、ポルトガルの音楽施設「カーザ・ダ・ムジカ」と連携し、“ワークショップ・リーダー”の育成や、独自のプログラム開発にも取り組んでいます。オリジナルワークショップの「はじめましてクラシック」には、東京音楽コンクール入賞者も多数出演しています。さらに、東京文化会館では毎月ミュージック・ワークショップを実施するとともに、都内文化施設、特別支援学校、高齢者・社会福祉施設等でも実施しています。



東京文化会館
ミュージック・ワークショップ
特設ページ

《Music Education Program》

次世代を担う子供たちが舞台芸術に直接触れることで、豊かな心を育み、舞台芸術に対する愛情・理解を深めることを目的としたプログラムです。

●アウトリーチ・コンサート

東京音楽コンクール入賞者が都内保育園・幼稚園、小中学校に赴き、本格的なクラシック音楽による出張コンサートを行います。

●アウトリーチ・ワークショップ/クリニック

部活動など学校の授業外で行われているブラスバンドやオーケストラ、和楽器などで音楽活動をしている小中学生へ、東京音楽コンクール入賞者や、ワークショップ・リーダーが直接技術指導を行います。

●アウトリーチ・ワークショップ

東京文化会館ワークショップ・リーダーが、学校の授業の一環として東京文化会館ミュージック・ワークショップを実施する参加型教育プログラムです。



ミュージック・ワークショップ・フェスタ(冬)(2025年12月)
「森の王様」江東区豊洲文化センター 豊洲シビックセンターホール



ミュージック・ワークショップ・フェスタ(冬)(2025年12月)
「はじめましてクラシック〜ピアノ〜」東京文化会館 小ホール